

吉良上野介義央 (一六四一〜一七〇一)

吉良家は、清和天皇の後裔で先祖は足利左馬頭義氏。江戸城における一切の典礼を司る高家の地位を得たのは、祖父義弥の時です。寛永十八年生まれで三郎の幼名を名のった義央は、十三才で將軍家綱に謁見しました。のちに、京への使者を任され、立派にその大任を果したことから以後有職故実の家柄として重用されるようになりました。賓客を応待することにかけては、義央はまさに天才だったようです。

忠臣蔵では悪役に仕立てられた上野介でしたが、領地の三河の吉良(愛知県西尾市吉良町)では評判が高く、町の人は今でも「吉良様」と呼んで敬っている善政の殿様でした。新田の開拓や塩業の発展に尽力するなど、多くの事業で成功をおさめ、特に一昼夜で築いたといわれる長さ百八十二メートルの堤があり、この治水工事で豊作が保証されたことから、今でも「黄金堤」と呼ばれています。領地に滞在している間は赤い馬に乗って領内を巡回するのが日課としており、「吉良の赤馬」は名君吉良様と共に今でもその名を残しています。



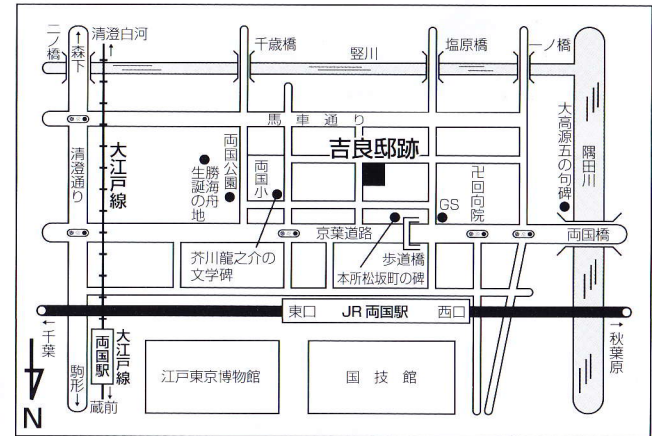
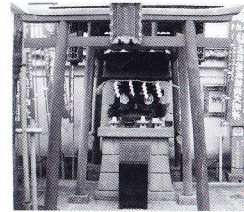
墨田区長 山本 亨

赤穂浪士の討入りから、三百年以上の月日が経ちました。町並みや人々の暮らしが変わっても、忠臣蔵の物語は、今も私たちの心に響き続けます。そうした中、この吉良邸跡が、地域の皆様の志により、いにしえの面影を残し保存されてきていることは、大変意義深いことであります。

この吉良邸跡は、現在、本所松坂町公園として、開園されていますが、今後とも、地域の皆様の御協力を得て、都指定旧跡の、墨田区の名所として、多くの方々に訪れていただけるよう努めてまいります。

【松坂稲荷】

園内にある「松坂稲荷」は、徳川氏入国後、水門内に鎮座された「兼春稲荷」と、古くこの地に祀られていた「上野稲荷」の二社を合祀し、昭和十年当所に遷座されたものです。



本所松坂町公園：墨田区両国 3-13-9 (年中無休・入園自由)

両国三丁目吉良邸跡保存会  
 会長 岡崎 安宏  
 両国連合町会  
 一般社団法人 墨田区観光協会

墨田区道路公園課  
 TEL.03-5608-6597

都指定旧跡  
 吉良邸跡  
 本所松坂町公園



両国小学校の少し西側、日本所松坂町、現在の墨田区両国三丁目に、なまこ壁に囲まれた「吉良邸跡」があります。元禄十五年（一七〇二）十二月十四日、赤穂の四十七士が討入りしたところで、『忠臣蔵』で知られるところです。

吉良上野介の屋敷は、はじめ鍛冶橋の屋敷を拝領していましたが、刃傷事件のあと、赤穂浪士が吉良屋敷に討入るといふ噂があり、周囲の大名屋敷から苦情が出て、元禄十四年八月御用地として幕府に召し上げられ、一時こどもの上杉弾正大弼の屋敷に身を寄せ、その後、同年九月、ここ本所松坂町の松平登之助の屋敷を拝領し移り住みました。江戸城近くの屋敷から比べれば、赤穂浪士の討入りは、格段に容易になつたと世間でいわれました。

この吉良家上屋敷は広大で、東西七十三間（約三三三m）南北三十四間（約六一m）二千五百五十坪（約八四〇〇㎡）と記されています。吉良上野介がこの屋敷を拝領したのが、元禄十四年（一七〇二）九月三日、義士の討入りがあつて没収されたのが元禄十六年二月四日と、前後一年半に満たない短期間でした。

屋敷の表門は東側、今の両国小学校に面した方にあり、裏門は西側で、東・西・南の三方は周囲に長屋があり、北側に本田弥太郎、土屋主税の屋敷と地続きになっていました。建坪は、母屋が三百八十八坪（約二八〇㎡）長屋は、四百二十六坪（約一四〇〇㎡）でありました。



吉良上野介義央公座像

現在、「吉良邸跡」として残る本所松坂町公園は、二十九・五坪（約九八㎡）で当時の八十六分の一に過ぎません。これは昭和九年（一九三四）地元両国三丁目町会有志が発起人となって、邸内の「吉良公御首級（みしるし）洗い井戸」を中心に土地を購入し、同年三月に東京市に寄付し貴重な旧跡が維持されました。区への移管は、昭和二十五年（一九五〇）九月です。

園内にあります吉良上野介の座像制作に当っては、愛知県西尾市吉良町に吉良の菩提寺華蔵寺があり、上野介五十歳の時、一六九〇年頃自らが造らせた奇木造の座像が現存しています。その姿型をそっくりに、また、愛知県歴史編纂委員会の調査資料を参考に制作いたしました。

両国三丁目町会と吉良邸跡保存会が主体となり、吉良町のご協力も戴きました。  
（平成二十二年十二月十二日建立）

毎年十二月十四日の討入りの日には、赤穂四十七士と、吉良二十士の両家の供養を行う『義士祭』が、両国連合町会主催で行われ、十二月の第二の土曜日・日曜日には、両国三丁目松坂睦主催で、地元商店会をはじめ、一〇〇店余が出店する「元禄市」も開かれ大変な賑わいを見えています。  
また『吉良祭』も催され、主君のために亡くなった吉良家家臣の冥福を祈っています。



両国三丁目松坂睦主催「元禄市」



吉良上野介追慕碑

吉良家 家臣二十士碑

みしるし洗い井戸

《園内全景》

吉良上野介義央公像



吉良邸跡 正門